

暑い日に辟易とした8月。 9月の末には富士山が雪化粧しました。 初冠雪です。



初冠雪の観測は、甲府地方気象台の職員の目視により決まります。

気象台の所在地 甲府盆地は、写真では富士山の右手、北側になります。

28日、午前7時の富士山頂の気温は、 -1.6 度と冷え込みました。

この日、確認された初冠雪は平年より2日早く、昨年より24日早いそうです。

酷暑にみまわれた夏でしたが、富士山の雪は早く、気象の意外性に驚かされます。

抜けるような秋晴れの朝、暑さやコロナから 本心 解放された思いでした。

寺田縄地区の稲穂は刈り入れ待ち。すっかり金田（金色の秋）になりました。

刈り入れは10月に入ってから、今年は、台風の襲来がなく豊作のようです。

澄み渡った空、富士山の左手には、矢倉岳、金時山、そして箱根の山々が連なります。



富士山の頂き。 手前のステージ状の地形は、ゴルフ場、施設の建物も見えます。



降雪は、かなり広範囲に広がっています。
積雪量はどのくらいか？ 山ひだが観察されます。

左下の積雪の少ない範囲が、「宝永の噴火」跡になります。



相模大山です。地区を象徴する「小田厚」の陸橋。そして、相模平野の田園。



案山子（カカシ）役の「トンビ」かな？ イネを野鳥から守ります。